

## 林業の担い手確保に向けた取組「未来森林体験講座」について

### 1 はじめに

県南広域振興局では、平成29年度から高校生等の就業希望者や保護者、進路指導に携わる教職員等を対象に、就業先としての林業の理解醸成と新規就業者の確保に向けた取組を行っています。今年度も地元林業経営体の協力を得て取組を行っていますので、その一例を紹介します。

### 2 現場見学と高性能林業機械の操作体験

7月31日、奥州地方森林組合の協力の下、杜陵高校奥州校を対象に、伐採状況や機械の作業システムの見学、林業機械の操作体験を行いました。参加した生徒は1名でしたが、林業機械と先生を独占することができ、有意義な体験であったとのことでした。また、「森林に興味があり講座に参加。今のところ林業への進路を考えていないものの、今回の体験から興味が湧いた。」と感想があり、将来、林業に関わる人材になることを期待しています。



### 3 社会人講師講演会

9月16日、岩谷堂高校の2年生18名を対象とした講演会を行いました。この講演会は講話を通して、生徒の勤労観・職業観を育み、自己の生き方・あり方を考えることを目的に学校が年に数回開催しているもので、様々な職業・企業がある中で、特別に林業関係として招待をいただきました。今回は地元の奥州地方森林組合を紹介し、業務概要のほか、職員から就職の経緯や体験談をお話していただいた後、チェーンソーの説明や防護衣の試着、伐倒状況のVR体験を行いました。林業は現場作業のイメージが定着していますが、総務課職員が内業(事務)を紹介したことで、参加した女生徒の関心が高まったほか、福利厚生や土日休の説明が組合のイメージアップに繋がったようです。



### 4 おわりに

昨年度までは講座の内容と開催日を固定していましたが、学校によって希望する時期や講座の内容が異なることから、今年度からは学校のニーズに対応した講座を開催しています。今後もより多くの生徒に林業を認知してもらえよう取り組んで参ります。